

# 事業報告

## 白岡・蓮田ひまわりプロジェクト

～ひまわりを植えてみんなで元気になろう～

公益財団法人 日本ヘルスケア協会 2023年研究助成事業  
実行委員会・街づくり部会・在宅介護部会  
フレイル部会・感染症対策部会

代表 福田英二

2024・7・25



# 研究助成事業 概要

- 白岡市及び蓮田市の遊休農地を活用して、油脂用ひまわり・観賞用ひまわりなどを地域の住民・子供たちと一緒に栽培育成。
- 当協会が関わることで地域が活性化し、街づくりに貢献する。「産・官・学・民」の連携事業の社会実験を目的とする。
- プロジェクトを通じて、地域の高齢者を中心に子供会などを巻き込み、多世代交流やささえあい活動として地域づくりが定着することを期待。



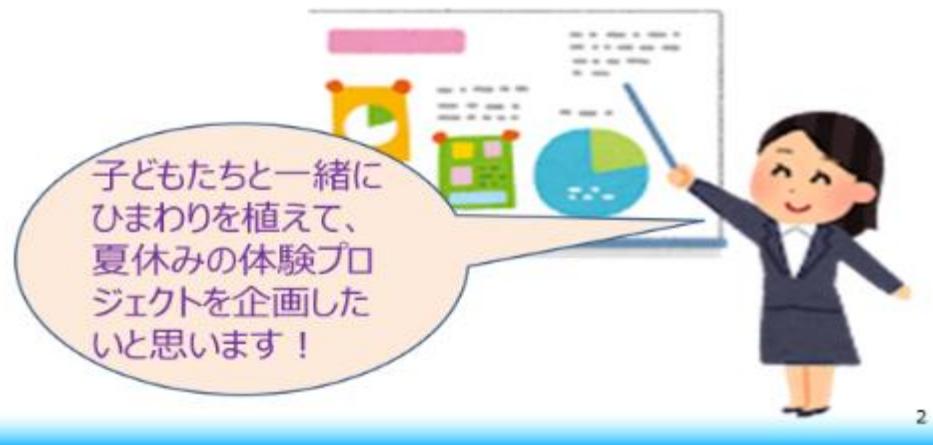
## 事業開始前夜①

在宅介護推進部会  
11月

プロローグ..

welcia

きっかけは「N社（株）」からの  
在宅介護推進部会での提案だった..



- 在宅介護推進部会の提案を受けてその準備を開始したのは、事業開始前の11月でした。
- N社の皆さんの応援を受けて、協力してくれそうな皆さんに説明会を開き、少しずつ皆さんの気持ちが広がっていきました。
- 柴山地区では活性化クラブの皆さんが、上野田地区ではいきいき健康cafeの皆さんが、ウエルシアハウスではささえあいしらおかの皆さんが、それぞれ協力を約束してくれました。



## 事業開始前夜②

### ウエルシアハウス 説明会 12月

- この日ウエルシアハウスには、蓮田ひまわり園の野村さんや柴山活性化クラブの内田さん、白岡市街づくり課の千葉さん、地域の皆さんなど集まり、在宅介護推進部会の小原部会長・昭和大学の倉田先生はじめ大学関係者も一緒に説明会を聞くことになりました。



研究助成事業  
申請 1月

ヘルスケア学会  
での発表 3月

そうだ!!

JAHlの研究事業募集に申  
し込んで、年次学会で発表  
しよう!



## 研究事業決定

## 記者会見 5月

- テーマ：  
「ひまわりプロジェクトで産官学民の連携を創出して、  
          楽しい地域づくりを実現する！！  
    ―地域共生社会実現に向けた白岡市の取り組みを応援する―
- スピーカー：白岡市地域包括支援 センター長 福田英二 氏



# ひまわりがつなぐ、地域の高齢者と子供たち・・・

実行委員会と  
プロジェクト  
結成5月



ひまわりの歌

ひまわり大使  
ハルちゃん



ひまわり大使  
陽葵（はるひ）ハルちゃん



ひまわりのうた  
ハルちゃんの叔母（常見）さん





事業経過①  
作付け農作業 5月  
種まき 5. 21

柴山コスモス園の種まき (70a)

# 柴山コスモス園のN社実演会（搾油）

事業経過②

N社実演会 5・21



# 5月22日柴山沼あずま屋の種まき（2a）

事業経過③  
あずま屋5・22



白岡市観光協会と  
そのボランティアの皆さん



# 5月26日上野田白石農園種まき（10a）

事業経過④  
上野田白石農園  
5・26



# 5月27日ハルちゃん農園と蓮田ハーブ園(30a)

事業経過⑤  
ハルちゃん農園  
5・27



# 5月29日白岡高校支援学級1年生

事業経過⑥  
白岡高校支援学級  
5・27



放課後等デイ  
サービス  
「そらキッズ」



事業経過⑦  
ひまわり開花  
7・20





事業経過⑧  
オープニング準備  
7・21

オープニングの準備 7・21



# 25日オープニング

事業経過⑧  
オープニング  
7・25



プロジェクト  
参加団体  
27団体ほか

## ひまわりプロジェクト実行委員会と参加団体

- ・柴山活性化クラブ・柴山子供会・大山地域元気会議
- ・上野田いきいき健康カフェの皆さんと白石農園
- ・令和カフェ・ダンボの会・医療生協・ハウスボランティアの会
- ・農福商連携事業 アルファイノベーション（株）・めぐみの里
- ・蓮田ひまわり園・NPO空飛ぶアヒル・ホルケホイスコーレ関東の会
- ・ウエルシア薬局（株）・日清オイリオ（株）など企業各社
- ・帝京平成大学地域薬学連携サークル・中野区武蔵野療園
- ・放課後等デイサービス「そらきっず」・ありの実館・いなほの里
- ・フローラ新白岡・ソレアード新白岡・新白岡花と緑の会
- ・白岡高校 しらおか分校 支援学級1年生・NPOたけのこProject
- ・白岡市・白岡市観光協会・ウエルシアハウス
- ・公益財団法人日本ヘルスケア協会・街づくり部会・ドラッグストア在宅介護推進部会

事業経過⑨  
オープニング  
上野田祭り



事業経過⑩  
オープニング  
蓮田ひまわり園



事業経過⑪  
ひまわり収穫  
柴山コスモス園



事業経過⑫  
ひまわり収穫  
上野田白石農園



事業経過⑬  
ひまわり収穫  
蓮田ハーブ園





事業経過⑭  
ひまわり収穫  
タネの選別作業①



# 柴山・上野田 ひまわり収穫報告 11月



# ひまわりの 搾油



## 達成目標と 評価指標

### 達成目標 評価指標

#### ①ひまわりプロジェクトで「地域が元気になる」

⇒営利追及から社会参加・SDG s の時代への期待 \* \* 元気になろう！

：地域・行政機関・市民団体・民間企業・教育機関・当協会が  
それぞれ元気になったか？

#### ②ヘルスケア協会の「公益事業として取り組む」

⇒産業団体から公益事業団体としての飛躍 \* \* 公益性の獲得

：協会傘下の各部会が、公益事業としてどのように取り組んだか？

#### ③産官学民の連携事業を進める

⇒公益事業の基本である多様な社会資源と繋がり、市民に還元する

：当協会・行政機関・帝京平成大学・地域団体と市民の  
連携ネットワークはどのようにつくり、還元できたか？

## 事業成果と 今後の課題①

### 事業成果①・・・ひまわりプロジェクトで「地域が元気になる」

⇒営利追及から社会参加・SDG s の時代への期待 ＊ ＊ 元気になろう！

地域・行政・市民・企業・教育機関・当協会がそれぞれ元気になったか？

・白岡市の行政は市長以下副市長や街づくり課・観光協会・環境課の応援を得ることが出来た。が、「一緒に取り組めたか？」と問われれば、多くの課題が残った。縦割り行政など庁内の連携が大きな課題。

・蓮田市の行政にはほとんど連携がとれていない。蓮田ひまわり園の後援団体「空飛ぶアヒル」からS議員が誕生し、その関係で市長以下が見学に来たがそれ以上の進展はなかった。今後を期待する。

・行政・市民団体を含めた実行委員会などを作り事業を進めたが、今回の事業のような「公益モデル形成」という広域的な事業に慣れていない、経験が不足しているなどの課題が残った。やはり継続が力となるを実感する。

・当協会と傘下の企業は、N社とT社・S社の参加にとどまった。各企業の事業に対する関心は高いが、実際の行動部隊を動かす余裕がない、サポーターが育成されていないという課題が浮き彫りとなった。一方JAHIの事務局は記者会見など多くの労を担い、事業推進をバックアップした。

・帝京平成大学薬学部・白岡高校支援学級・障がいデイそらきっずなどの新たな参加があり、教育関係者の事業連携には期待が大きい。教育機関は日常的な公益事業を展開している関係で、事業参加には経験値があると言える。

## 事業成果と 今後の課題②

### 事業成果②・・・ヘルスケア協会の「公益事業として取り組む」

⇒産業団体から公益事業団体としての飛躍 ＊ ＊ 公益性の獲得

協会傘下の各部会が、公益事業としてどのように取り組んだか？

・街づくり部会・在宅介護推進部会など各部会の参加があったが、これまでの経験から「イベント開催」「ブース出店」の実績はあるものの、「地域との連携」や「公益性」の点ではまだまだ弱いと実感する。

・一発勝負ではなく「日常的な」「継続的な」取り組みを創出すること、企業各社を横断的に繋げたチームや組織が必要なのかもしれない。

・地域包括ケアあるいは地域包括ケアシステム自体が分かりにくいという問題と、同時に「地域づくり」という課題が商品開発・販売・収益向上という企業戦略の中では見えにくいのだろうか。

・SDG s や社会貢献がまだまだ浸透していないのか・・・。

・翻って考えると、公益団体となったとはいえ「公益事業」や「公益性」についての、各部会や全体での議論が弱かったと反省している。今回の事業だけではなく一度基本的な議論をする時期になってるのではないか、そのことが現実的な課題となったという意味では、まさに公益事業 1 年目の課題が鮮明になったと言える。

・今一度立ち止まって「公益事業の展開」についての議論を始めることが、今まさに急務であると感じている。

## 事業成果と 今後の課題③

### 事業成果③・・・産官学民の連携事業を進める

⇒公益事業の基本である多様な社会資源と繋がり、市民に還元する

当協会と市民との連携ネットワークはどのようにつくり、還元できたか？

・小原部会長の骨折りで中野区との様々な連携事業が進行している。中野区と当協会とのコンソーシアム構想などの協議や取り組みが、中野区の介護事業者を基盤とする市民団体であるMIKANを軸に、町会や区民活動センターなどに拡がりを見せている。

・ひまわりプロジェクトにも中野区から応援部隊が参加し、その中から玉ねぎやイチゴ栽培などの農福連携の動きが始まり、今後に向けた動きが作られつつある。

・この動きは当初のひまわりプロジェクトでは予想しなかった展開であり、農村や農業が抱える「過疎化」や「農業従事者の後継者不足」などの課題にも取り組むきっかけを含んでいると感じている。

・本来は地域内での担い手の育成やチームの形成が望ましいのであろうが、現実的には「過疎化」の最大の要因である地元のエネルギー不足はいかんともしがたいものがあり、当面は「外部導入」による活性化の刺激が残存している地域の人的資源とコラボして、再活性化を図るしかないと感じている。

## 今後の課題① 事業継続の方向性

### ①事業成果を公益モデルとして還元する

・ひまわりの栽培とそれにかかわる農作業・管理作業・運営などのノウハウは、「事業の一通りの流れ」を経験し課題と実績を得たといえる。ともかく「ひまわりを咲かせること」「それをみんなで楽しむこと」「タネを収穫して搾油する」「ひまわり油を販売する」までの工程は経験した。

・次の段階として、この一連の取り組みを

- 1 : どのように地域住民・市民に根付かせていけるか
- 2 : 地域が「主体的に」取り組めるようにするための人材育成

・また、農業生産物を収益に転換し、その収益で継続的に事業を運営するにはどのような取り組みが必要か。その事業の支援の仕組みと予算のねん出を図ることが必要となるだろう。



## 今後の課題②

### ヘルスケアサポーター 養成講座の開設

ヒトとモノと社会参加の機会を市民に提供する。

今回の事業を通して実感するのは、やはり「人材育成」という課題である。その上で「継続的な事業を運営するスタッフの養成」を痛感する。

現在部会で検討中の「ヘルスケアサポーター養成講座」がその構想には最も近いと感じている。

この養成講座の立ち上げと運営を通して、今後の事業展開を進めていきたい。

これが今回の事業の結論である。

## 次年度以降の 事業継続計画

- ①ひまわりプロジェクトとサポーター養成講座の連動
- ②ステップアップとして今後も研究助成事業に応募
- ③あくまでも事業を継続。事業の大小に関係なく可能な限り自立的な事業展開を推進する

# 中野区 暮らしの保健室 桃園の開始

## 2023年11月7日 みやももカフェ 分室 通信 vol.1

本日7日は記念すべき第1回目の「みやももカフェ分室」となりました。  
先々月から準備を始め宮桃町会長の中山さんはじめ、朝倉さん青木さんなどのご協力により開催することとなりました。  
初回の本日は前日からの雨風で足元が悪く、参加予定の方が半分にりましたが、それでも地域の方5名と中山会長・朝倉さん・駒野さん・白岩さんがお忙しい中お越しになり、楽しいお話で大いに盛り上がりました。  
関係者の皆さんには心より篤く御礼を申し上げます。



今回の開会は、実際には30分ほど早くから準備をしていて、机を並べたりコーヒーやお菓子の用意をしたりと、あわただしく過ぎていきました。  
10時には皆さんお揃いになり、まずは開会宣言を込めて中山会長のご挨拶で始まりました。  
この時はまだ皆さんとことなく緊張していて、何が始まるのかなあと云った面持ちでした（笑）  
ご用意したコーヒーカップと小皿には、ドリップで抽出した出来立てのコーヒーとシャトレーゼのお菓子が並び、豪華ではないもののちょっとしたサロンといった雰囲気です。

最高齢の平田み子さんはノリタケの赤い縁取りのコーヒーカップをご持参くださり、98歳とは思えない素敵な笑顔で皆さんとお話されていました。



磯山昌子さん：80歳を過ぎていろいろと習い事を始めた。詩吟や三味線を習って、皆さんと楽しく暮らしている。毎日が楽しく仕方がない、というくらい元気です。  
若いころは食料品店をやっていたが、そこを辞めてからまた仕事に出るようになった。不動産会社に勤めることになり、そこでとても従業員を大事にする会社の社長さんに気に入られて、いろんなところに行くことが出来た。北京などの大会にも数回参加した。その関係で中国の方とご縁が出来たが、とてもいい人ばかりだった。日本と中国の関係があまり仲が良くないのがとても悲しいと思う。これからはもっと仲良くしてほしいですね。



中野区MIKAN  
との連携  
玉ねぎとイチゴ  
の栽培 11月

ホタルの池と  
ホタルの里構想  
5月



2024年5月

# 2年年目の ひまわり畑

今年は「田植え」  
と「米づくり」  
を新たに企画した。



# 事業経費報告

ひまわりプロジェクト予算・決算					
項目・課目		予算			決算
<b>I：収入の部</b>					
日清オイリオ（株）		200,000	200,000		100,000
ウエルシアハウス		200,000	200,000		100,000
ヘルスケア協会		1,000,000	1,000,000		1,000,000
ひまわり油販売					170,000
小計			1,400,000		1,370,000
<b>II：支出の部</b>					
項目・課目		単価	人数	回数	計
<b>1：諸謝金</b>					920,000
農作業応援謝金		3,000	10	5	150,000
農地借用費		10,000	4	1	40,000
作業機械借用費		5,000	8	4	160,000
作業ボランティア謝金		3,000	15	6	270,000
事務局費		5,000	2	20	200,000
記録・報道謝金		100,000	1	1	100,000
					566,000
					95,250
					0
<b>2：器材費（購入代金等）</b>					65,000
小農具購入費		500	10	1	5,000
作業用物品購入費		500	30	1	15,000
たね代・油脂用		1,500	5	1	7,500
たね代・観賞用		1,500	5	1	7,500
観察小屋資材費		10,000	1	1	10,000
ドローン機材費		20,000	1	1	20,000
					49,338
					214,359
					12,040
					39,380
					50,000
					0
<b>3：会議費（茶菓代等）</b>					20,000
<b>4：通信運搬費</b>					70,000
<b>6：資料・購入費</b>					127,000
副賞文具費		3,000	15	1	45,000
映画借用費		1,000	2	1	2,000
広報・宣伝費		5,000	8	2	80,000
					81,895
					0
					119,940
<b>7：臨時雇用費</b>					0
<b>8：使用料及び賃貸借料（会場使用等）</b>					40,000
<b>9：印刷製本費</b>					65,000
<b>10：消耗品費（文具等）</b>					22,500
ボランティア保険料		350	50	1	17,500
イベント調理食材		5,000	1	1	5,000
雑費		0	0	0	0
					18,000
					15,940
					26,035
小計					1,329,500
					1,418,177
					収支 ▲ 48177